

ダイワ・ブラジル株式オープン –リオの風–

国内外の不透明要因から不安定な状況が続くブラジルの投資環境

2018年9月28日

お伝えしたいポイント

- 国内外の不透明要因から不安定な状況が続くブラジルの投資環境
 - － 大統領選挙をめぐる不透明感が相場の変動性の高まりを招く
 - － 新興国市場の投資センチメント悪化が相場の重しに
- 堅調な企業業績が下支え要因に
- 今後の運用方針

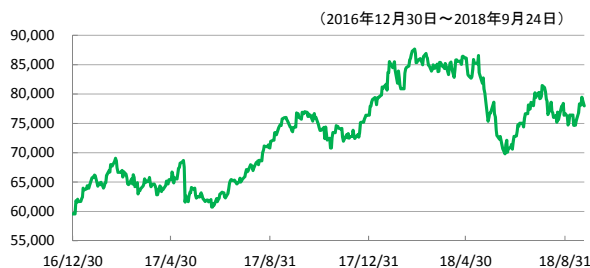
<国内外の不透明要因から不安定な状況が続くブラジルの投資環境>

ブラジル株式市場は、2017年以降、景気回復や構造改革への期待などから大きく上昇する展開でしたが、燃料価格上昇に抗議するトラック運転手のストライキなどを受けて、2018年5月下旬から6月下旬にかけて大きく下落しました。その後も、大統領選挙をめぐる不透明感から不安定な推移となっています。

また、ブラジル・リアルについても、大統領選挙をめぐる不透明感に加えて、米国金利の上昇を背景に新興国からの資金流出懸念が高まったことや、トルコをはじめとした新興国不安などの影響で軟調推移となっています。

足元では、大きく2つの要因が不安視されています。①10月に予定されている大統領選挙をめぐる不透明感、②新興国市場の投資センチメント悪化です。

《ボエスパ指数の推移》



《米国国債金利と新興国通貨指数の推移》



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<大統領選挙をめぐる不透明感が相場の変動性の高まりを招く>

大統領選挙をめぐる状況が市場の最大の関心事となっており、相場の変動性の高まりを招いています。

これまでの状況については、各党の候補者が決定し、キャンペーンが開始されました。注目されていたルラ元大統領は出馬が認められず、PT（労働者党）は候補者をルラ氏からアダジ元サンパウロ市長に正式に変更しました。

今後については、10月7日に第1回投票、10月28日に第2回投票（第1回投票で過半数の得票者がいない場合、上位2名による決選投票を実施）が予定されています。

第1回投票に向けた支持率調査では、右派のボウソナロ氏がトップを走っています。ボウソナロ氏は遊説中に襲われ重傷を負い入院中であるため、選挙活動を行える状況にはないものの、第2回投票への進出が見込まれています。対抗として、アダジ氏やゴメス氏ら左派候補が後を追う展開となっています。特にアダジ氏は支持率を伸ばしており、現時点ではボウソナロ氏とアダジ氏が決選投票に進むシナリオが有力です。一方、市場からの支持が最も厚いアルキミン氏は支持率を伸ばすことに苦戦しており、選挙戦を勝ち抜く可能性は高くないとみられます。

決選投票（第2回投票）に関しては、ボウソナロ氏に投票しない意向である有権者も多く、見通しは依然不透明な状況です。ボウソナロ氏の経済政策が市場から評価を得ている一方で、アダジ氏ら左派候補はバラマキ的な政策を行うのではないかと市場では警戒されており、社会保障改革などの財政再建に前向きな大統領が選出されるかに注目が集まっています。

今後も、大統領選挙に関するニュースや世論調査の結果に左右される展開が続くと見込まれます。

<選挙に関する出来事>

日程	出来事
8月31日	テレビ・ラジオキャンペーン開始
9月6日	最高裁判所がルラ氏の出馬を却下
9月6日	ボウソナロ氏の刺傷事件発生
10月7日	第1回投票
10月12日	決選投票に向けてのテレビ・ラジオキャンペーン開始
10月28日	決選投票（第2回投票）

（出所）各種資料より大和投資信託作成

<主要候補者の政策スタンス>

	ボウソナロ	アダジ（※）	ゴメス	アルキミン	シルバ
スタンス/政党	右派/PSL	左派/PT	左派/PDT	中道右派/PSDB	中道左派/REDE
社会保障改革	前向き	後ろ向き	後ろ向き	前向き	前向き
歳出上限	維持	廃止	廃止	維持	一部修正
労働改革	維持	廃止	修正	維持	修正



ボウソナロ氏とアダジ氏による決選投票の可能性が有力

社会保障改革に前向きな大統領が選出されるかに注目

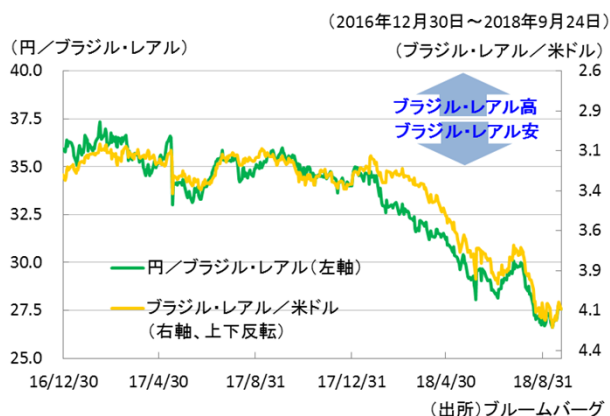
※アダジ氏の政策へのスタンスはルラ氏のものを表示しています。

（出所）各種資料より大和投資信託作成

<新興国市場の投資センチメント悪化が相場の重しに>

米国金利の上昇により新興国の対米金利差が縮小したことで、新興国からの資金流出懸念が高まったことが主な要因となり、ブラジル・レアルは軟調に推移する展開となっていました。その後も、トルコ・リラの急落が発端となった通貨不安によって投資センチメントが悪化し、ブラジル・レアルを含む新興国通貨全般に下落圧力が高まる展開となりました。足元では、新興国市場をめぐる不安は一服したとみる向きもありますが、ブラジルでは大統領選挙の動向に対する懸念も加わり、投資センチメントの悪化が相場の重しとなっています。

《ブラジル・レアルの推移》



<堅調な企業業績が下支え要因に>

現在のブラジル経済はマイナス成長から脱し、景気サイクルにおいてまだ回復初期の段階です。インフレ率についても、ストライキによる短期的な影響から6月に急加速しましたが、依然として中央銀行のインフレ目標の範囲内にあります。経済活動やインフレの動向によっては今後、政策金利が引き上げられる可能性はあるものの、引き続き緩和的な金融環境が景気回復を支えるとみています。大統領選挙の行方や新興国市場の動向など、不透明要因は依然として残るものの、企業業績は堅調さを維持しています。不透明感が和らげば、回復に向かう景気や企業業績が株式市場の下支え要因になるとみられます。

<今後の運用方針>

当ファンドはブラジルの株式に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。経済情勢や業界動向の分析を行うとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーションを総合的に勘案してポートフォリオを構築します。足元では国内外の不透明要因から株式市場のボラティリティが高まっているものの、低金利の継続によって中長期的な景況感の改善が続くと見込みます。このような環境のもと、魅力的な株価水準で取引されており、上昇余地が大きいと判断される銘柄に注目していく方針です。

<基準価額の推移>

<<基準価額・純資産の推移>>

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

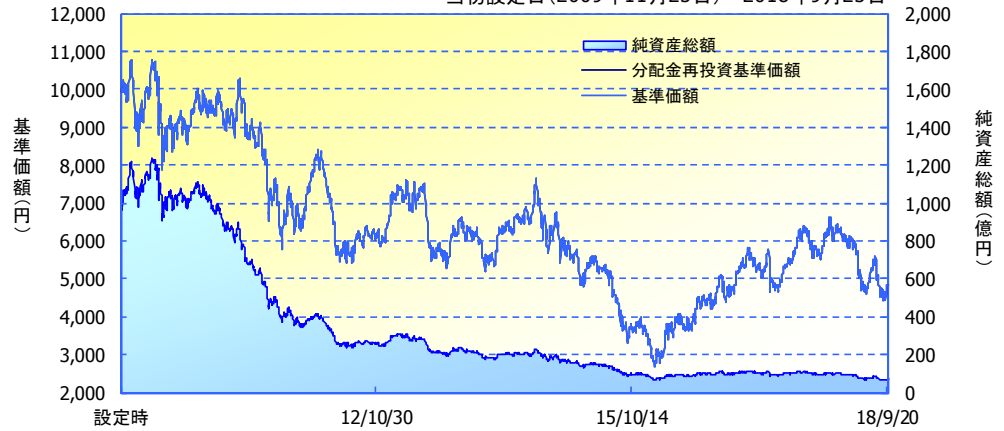
当初設定日(2009年11月25日)～2018年9月25日

2018年9月25日現在

基準価額	4,834 円
純資産総額	67億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+6.4 %
3カ月間	+3.1 %
6カ月間	-20.0 %
1年間	-22.8 %
3年間	+37.8 %
5年間	-23.5 %
年初来	-18.0 %
設定来	-51.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

以上

ダイワ・ブラジル株式オープン –リオの風–

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ブラジルの株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. ブラジルの株式^(注)に投資します。
(注)「株式」…DR（預託証券）を含みます。
 - ◆ブラジル株式市場の主要銘柄については、DRが多数発行されています。当ファンドではDRにも投資を行なうため、ブラジル・レアル以外の通貨建資産を組入れますが、DRの価格はブラジル・レアルの為替を反映したものととなります。
 - 経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。
 2. ブラジルの株式の運用は、イタウ・アセットマネジメントの助言を受け、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドが行ないます。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク、税制に伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ・ブラジル株式オープン –リオの風–

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.8144% (税抜 1.68%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ブラジル国内株式投資に伴い、ブラジル・レアルを取得する為替取引に対しては金融取引税が課されます。なお、2018年6月末日現在、税率は0%です。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、前記の取扱いが変更されることがあります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会